

1. 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	間伐の効率性	22.31	人・日/ha	H27	20.43	人・日/ha	R3	22.18	92%	R3	達成状況報告 令和4年7月4日
森林の多様な利用・緑化の推進												
優良種苗の確保	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗の生産量	0	千本	H28	50	千本	R3	52	104%	R3	達成状況報告 令和4年10月18日
望ましい林業構造の確立												
特用林産の振興												
木材利用及び木材産業体制の整備推進												
山地防災情報の周知												
森林資源の保護												
林業担い手等の育成確保												
市町村広域連携支援												

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
森林整備の推進	本事業により林業機械を整備したことにより、ha当たりの人役が減少し、間伐の効率性が向上した。	今後も安定的に事業を実施していくためには、森林の状況に応じた最適な使用機械の検討や森林の集約化及び路網整備を計画的に実施していく必要がある。
森林の多様な利用・緑化の推進		
優良種苗の確保	需要拡大に努めた結果、目標生産量を達成することが出来た。	引き続き、コンテナ苗の需要拡大に努め、生産量の増大に努める。
望ましい林業構造の確立		
特用林産の振興		
木材利用及び木材産業体制の整備推進		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護		
林業担い手等の育成確保		
市町村広域連携支援		

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記述するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記述すること。
- 2 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記入すること。
- 4 行については、適宜加除すること。

2. 個別事業評価

森林整備・林業等振興整備交付金

(1) 施設の利用状況

目標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備考
							1年目 <small>(平成29年度)</small>	2年目 <small>(平成30年度)</small>	3年目 <small>(令和元年度)</small>	4年目 <small>(令和2年度)</small>	目標年度 <small>(令和3年度)</small>	
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備【森林整備型】	カルスト森林組合	林業機械導入【森林整備型】 高性能林業機械等	平成28年度	搬出間伐の割合 (%) 17 → 21	21 30 143%	21 32 152%	21 22 105%	21 21 100%	21 33 157%	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
				その他(バックホウ(グラブ プル・ウインチ付き))								
優良種苗の確保	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗生産基盤施設等整備	(有)美緑	コンテナ苗生産基盤施設 コンテナ苗生産施設装置 コンテナ苗生産機械器具	平成28年度	コンテナ苗生産量 (千本) 0 → 50	30 24 80%	35 30 86%	40 37 93%	45 42 93%	50 52 104%	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
				育苗施設 2棟 苗採取機 1台								

目 標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (平成30年度)	2年目 (令和元年度)	3年目 (令和2年度)	4年目 (令和3年度)	目標年度 (令和4年度)	
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	カルスト森林組合	林業機械導入【森林整備型】 高性能林業機械等	平成29年度	間伐材利用量 (m <sup>3</sup> ) 4,841 → 6,000	5,200 5,108 98%	5,400 3,014 56%	5,600 4,075 73%	5,800 5,425 94%	6,000	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
				その他 ウインチ付きグラブプル		間伐材の生産性 (m <sup>3</sup> /人・日) 4.40 → 5.00	4.60 4.84 105%	4.70 4.23 90%	4.80 5.23 109%	4.90 6.62 135%	5.00	
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	山口県西部森林組合	林業機械導入【森林整備型】 高性能林業機械等	平成29年度	間伐材利用量 (m <sup>3</sup> ) 7,012 → 10,500	10,000 8,558 86%	10,500 8,907 85%	10,500 9,478 90%	10,500 8,435 80%	10,500	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
				高効率林内作業車		間伐材の生産性 (m <sup>3</sup> /人・日) 3.00 → 5.00	3.50 3.37 96%	4.00 3.12 78%	4.40 4.12 94%	4.80 3.75 78%	5.00	
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	山口県西部森林組合	林業機械導入【森林整備型】 高性能林業機械等	平成29年度	間伐材利用量 (m <sup>3</sup> ) 7,012 → 10,500	10,000 8,558 86%	10,500 8,907 85%	10,500 9,478 90%	10,500 8,435 80%	10,500	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
				その他 ウインチ付きグラブプル		間伐材の生産性 (m <sup>3</sup> /人・日) 3.00 → 5.00	3.50 3.37 96%	4.00 3.12 78%	4.40 4.12 94%	4.80 3.75 78%	5.00	

(注)

- 1 「個別指標」の欄には、事業計画に記入した個別指標及び目標値を記入すること。
- 2 「達成状況」の欄には、上段に目標値に対する各年度の実績を、下段に達成率(実績／各年度の目標値)を記入すること。なお、製品出荷量実績におけるJASの格付率又は入荷量に占めるJAS製材品の割合の報告を要する場合は、達成率の下に括弧書きで記入すること。  
年度ごとに目標値を設定している場合は、最上段にそれぞれ記入すること。
- 3 報告年度については、本要領第7の2若しくは第9の3に基づくこと。
- 4 利用料等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金を徴収する施設ごとの実績についても記入すること。
- 5 木造公共建築物の整備により整備する施設においては、原則として施設利用者に対してアンケートを行うこと等により施設の波及効果を調査することとし、その集計結果を達成状況報告の提出の際に添付すること。  
なお、アンケートの内容には、以下の(1)～(3)を含めること。
  - (1) 当施設の利用で木材利用の意義や木の良さについて理解が深まりましたか(深まった、深まらない(その理由)、わからない)。
  - (2) 国、地方公共団体はこのような木造公共施設の建設を促進すべきですか(そう思う、そう思わない(その理由)、わからない)。
  - (3) ご自分が住宅を建てる場合、地域材を使用したいと思えますか(この施設を見てそう思うようになった、以前からそう思っていた、そう思わない(その理由)、わからない)。
- 6 木質バイオマス利用促進整備のうち、事業計画書の備考欄に「未利用材を利用」と記載したものについては、「達成状況」欄に木質バイオマス利用量の実績の上段へ、その内数として未利用材利用量を( )書きにより記載すること。

## (2) 収支実績

単位:千円

(山口県)

メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	項目	目標値	報告年度					備考	
							運用開始年度	1年目 (平成29年度)	2年目 (平成30年度)	3年目 (令和元年度)	4年目 (令和2年度)		目標年度 (令和3年度)
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備【森林整備型】	カルスト森林組合	高性能林業機械等 その他(バックホウ(グラップル・ウインチ付き))	平成28年度	収入	339,720	-	25,324	22,145	17,585	18,344	26,474	
					支出	157,092	-	19,679	19,506	15,334	11,937	21,277	
					収支差	182,628	-	5,645	2,640	2,252	6,407	5,197	
					収入のうち 公的資金等								
コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗生産基盤施設等整備	(有)美緑	コンテナ苗生産施設	平成28年度	収入	9,408	-	4,034	5,085	6,423	7,192	8,186	
					支出	7,493	-	1,966	2,288	3,590	4,418	4,911	
					収支差	1,915	-	2,068	2,797	2,832	2,774	3,275	
					収入のうち 公的資金等								

メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	項目	目標値	報告年度					備考
							運用開始年度	1年目 (平成30年度)	2年目 (令和元年度)	3年目 (令和2年度)	4年目 (令和3年度)	
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	カルスト森林組合	高性能林業機械等 その他 ウインチ付きグラップル	平成29年度	収入	334,120	-	7,499	18,597	18,692	32,822	
					支出	154,231	-	9,083	15,679	20,129	30,910	
					収支差	179,889	-	-1,584	2,918	-1,437	1,912	
					収入のうち 公的資金等							
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	山口県西部森林組合	高性能林業機械等 高効率林内作業車 等	平成29年度	収入	64,000	-	47,881	79,776	81,842	114,590	
					支出	17,000	-	12,420	11,836	24,522	28,985	
					収支差	47,000	-	35,461	67,940	57,320	85,605	
					収入のうち 公的資金等							
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	山口県西部森林組合	高性能林業機械等 その他 ウインチ付きグラップル	平成29年度	収入	44,000	-	46,376	55,068	72,054	65,939	
					支出	16,000	-	14,280	12,814	25,546	18,827	
					収支差	28,000	-	32,096	42,254	46,509	47,112	
					収入のうち 公的資金等							

(注)

1 「収支実績」については、以下の施設について記載すること。

ア 収支を伴う施設

- |              |                |                    |                       |
|--------------|----------------|--------------------|-----------------------|
| (1)木材製材施設    | (6)木材加工施設      | (11)木材集出荷販売施設      | (16)品質向上・物流拠点施設       |
| (2)集成材加工施設   | (7)木材材質高度化施設   | (12)森林バイオマス再利用促進施設 | (17)チップ加工施設           |
| (3)プレカット加工施設 | (8)特用林産物生産施設   | (13)木質エネルギー等利用促進施設 | (18)新しい木材活用のための加工供給施設 |
| (4)丸棒加工施設    | (9)特用林産物加工流通施設 | (14)木質バイオマス供給施設    | (19)直交集成板加工施設         |
| (5)杭加工施設     | (10)廃床等活用施設    | (15)合・単板加工施設       | (20)コンテナ苗生産基盤施設等      |

なお、利用料金等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記入すること。

イ 林業機械作業システム整備により導入した林業機械(以下、「林業機械」という。)

- 「施設等区分」については、上記1のアに該当する場合は(1)～(15)を、1のイに該当する場合は【森林整備型】、【素材生産型】の別を記載し、機種についても記載すること。
- 項目の「収入のうち公的資金等」欄には、収入のうち市町村の一般財源や森林組合の他事業からの流用等施設の運営による収入以外の収入を記入すること。(収入の内数)
- 「目標値」の欄には、事業計画書の作成段階における収支計画を記入すること。なお、林業機械については、導入した林業機械による素材生産事業等に係る収支計画を記入すること。
- 「報告年度」は、本要領第7の2に基づくこととし、実績を各年度ごとに記入すること。
- 「目標年度」の欄には、目標年度の収支を記入すること。
- 「収入」は、販売額又は利用料等とすること。
- 「支出」は、固定経費及び変動経費の合計とし、減価償却費等支出に計上すべきものを正確に積み上げること。